

JAしまねびより 2017 11

November Vol.20

特集 島根のいいもの再発見!! 「海士町 みかん」 隠岐どうぜん地区本部

来月の外勤日は 12月16日(土)



Naomichi



燗火神社(隠岐郡西海町)

島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー！



みかん作りのために1ターンしてきた丹後さん(右)と白石さん

【海士町 みかん】

11月は、隠岐どうぜん地区本部。海士町の最南端に位置する崎地区へ1ターン、みかん栽培の再生に挑戦している、丹後貴視さん、白石宗久さんにお話を伺ってきました。



潮風いっぱいを受ける丘陵地に定植された島育ちの苗

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

崎地区のみかん再生とは、 どういうものですか？

崎地区では昭和30年代からみかんの生産が始まり、最盛期の40～50年代には生産者十数人で10ヘクタールを上回る栽培面積で生産、おもに隠岐郡内で販売されていました。崎地区は、海に面して日当たりも良く、甘みと酸味のバランスの取れた美味しいみかんが実り、通称「崎みかん」として住民からずっと愛されてきました。しかし外国産オレンジの台頭や栽培農家の高齢化・後継者不足等で、50～60年代に多くの農家が生産を辞め、みかん畑には杉や松(ひのき)が植林されました。近年は高齢の生産者4人、栽培面積0.4ヘクタールまで減少し、みかんは消滅の危機にありました。こうした状況の中、海士町が地域起こし協力隊の制度を活用し、みかん農家を募集。私たちはそれに応募、1ターンしてきました。海士町の皆さんはもともと、みかんが大好きで、食べたいという要望も多いことから、平成25年に「崎みかん再生プロジェクト」

収穫できるみかんの木は現在、引き継いだ約1ヘクタールの畑で100本、年間8トン前後収穫しています。プロジェクトがはじまって、平成26年に400本、27年1,200本、28年1,800本を定植しました。おもな品種は昔から育てられてきた興津早生(おきつわせ)です。現在は2カ所で栽培面積延べ4ヘクタール、合計約2,800本の苗木が育っています。みかんは苗木を植えてから3年で実がなることから、順調に進むと平成32年の東京オリンピック時には現在の3倍程度の収穫が期待できま

現在はどのような状況ですか？



崎みかんの再生は島でも注目のプロジェクト

として活動を開始しました。

す。最終的には定植した本数で、100トン前後の収穫量を目指しています。



日本海を見下ろす南向きの斜面に広がるみかん畑

みかん栽培をはじめて大変なことなどありますか？

まず何よりも大変だったことは、はじめての就農ということに加え、みかん栽培自体、右も左も分からない状態からスタートしたことです。

当初、瀬戸内海の大崎上島（おおよそかみじま）へ栽培技術研修に2週間あまり行き、その後もアドバイスをいただいています。土壌環境や気候も違います。生育させるため、何が正解で、何が間違っているのかもわかりませんでした。夏場の草刈りが特に大変で



みかん作りの魅力や課題を熱く語る白石さん

すが、いつ刈ったら良いか、どれくらい草が伸びたら刈れば良いのか、どれくらいのか、サイクルで刈れば良いのか、試行錯誤しながら一歩一歩、少しずつ経験を積んで前に進んでいます。隠岐牛の牛糞を活用した堆肥（たいひ）や、冬場の防寒対策として木の根元に海藻やウニの殻などを敷き詰めたり、ワラで作った衣を被せたりと、昔ながらの島の知恵を地元の方から教えても



昔ながら島ならではの工夫を聞き、取り入れ、実践

らい実践しています。移住し就農してからざっと5年になりますが、正直、こんなに大変だとは思いませんでした。ただ、海士町役場、JAしまね、地域の皆さん、色んな人達が親身になって明るく協力してくださり、支えてくださるので、使命感が湧き続け、大変ながらも楽しく、とてもやりがいを感じています。



みかん作りの拠点となる「旧崎小学校」

今後の抱負や展望を聞かせてください。

苗木を大切に育てながら、なるべく早く生産体制を確立し、収穫量を増やしていきたいです。まずはお世話になった地域の皆さんに復活した「崎のみかん」をたくさん食べていただきたい。収穫規模が拡大すれば将来的には人員も必



みかん畑は、誰でも入りやすい環境を目指して整備が続けられている

要となってきました。そのため、女性でも就農できる体制作りにも力を入れ、急斜面に木が立ち並ぶのではなく、段差をなるべく緩くして働きやすい農場作りにもこだわっています。島の皆さん、島根全体、県外への出荷へと、この昔懐かしい美味しい「崎のみかん」を多くの方に味わっていただきたいと夢を描いています。



みかんを収穫する島の子どもたち

海士町 みかん 一口メモ

みかんは冬でも葉をつけている常緑樹で、生産は気候に大きく左右される。年間の平均気温が15℃以上で、最低気温マイナス7℃が限界とされる。和歌山や愛媛、静岡などで盛んに生産されている。海士町の崎地区は冬場マイナス6℃まで気温が下がり、販売目的のみかん栽培では、日本最北端の地と言える。海士町の中でも崎地区は冬と夏の気温差が激しい。厳しい環境の中でたくましく育ったみかんは、薄皮で身が詰まっており、甘みと酸味のバランスが絶妙で美味しい。



雲南

大人気の加工餅 製造ピークを迎える

雲南地区本部の人気商品の1つ「仁多もち」「飯南もち」の製造が最盛期を迎えました。祭事や年末年始用の「ひかり餅」と「粉餅」を製造しており、子どもからお年寄りまで味わえる「こだわりの味」を届けています。

同地区本部では、奥出雲もち加工場と頓原もち加工所の2か所でもち加工を行っており、9月から来年3月頃までに年間300トンの製造を見込んでいます。

この加工餅のこだわりは「搗(つ)きたて、杵つき」製法。精米したての管内産もち米を100%使用し丁寧に搗きあげられた餅は、食べた時の滑らかさやほど良い粘りと歯切れが特徴。管内のAコープ店舗や産直の他にも、関東・関西地方の百貨店やスーパーなどでも販売しています。

同地区本部営農部農産加工課の福田忠課長は「生産者の思いがこもったもち米を、自慢の製法で加工している。こだわりの餅を皆さんにお届けしたい」と話しました。



袋詰めされた餅を箱詰める職員

くにびき

八雲農縁隊が休耕田の草刈り

農家が抱える課題の解決に取り組む「八雲農縁隊」が10月11日、八雲町内にある休耕田の草刈りを実施しました。メンバーは自前の草刈り機で手際よく雑草を刈り取りながら、汗を流しました。

同隊は、八雲支店運営委員会(山根盈樹委員長)のボランティア活動の一環として、平成25年に発足。農家の高齢化が進み、維持管理が難しくなった農地が増える中で、地域住民から「何とかしてもらえないか」との要望を受けて結成されました。「地域との縁を結ぶ」という思いを込めて、農縁隊と名付けて、同町内を中心に草刈りなどの活動を展開しています。

当日は、運営委員と支店職員ら6人が参加。約35アールの休耕田のあぜ道には、セイタカワダチソウやススキなどの雑草が生い茂っていましたが、2時間ほどで全ての草を刈り終わりました。山根委員長は「草刈りをしてほしいという要望が増えている。他の組織との連携を模索しながら、現在の活動内容を見直さないといけない」と話しました。



雑草を刈っていく農縁隊のメンバー

隠岐

隠岐のこだわり米 「島の香り隠岐藻塩米」

隠岐地区本部では、隠岐の島町産のこだわり米「島の香り隠岐藻塩米」のブランド化に向けて、生産者と一緒に取り組んでいます。

この米は、平成15年からコシヒカリでの試験栽培を経て、現在は首都圏を中心に出荷し、また地元の飲食店などへも供給。平成25年からは、こだわりのお米屋さん「(株)スズノブ」の西島豊造社長、「(株)はくばく」和穀の会事業部の方々にアドバイザーとしてご協力いただき、本年度は18人の生産者が約40ヘクタールのほ場で栽培しています。

現在は、より高いレベルでの品質の統一や食味の平準化を進めるため、肥料の無償供給やライスセンターでの全量最終調整の採用など、これまで以上の品質で消費者へお届けできるよう取り組んでいます。

平成28年からは、安定して高品質な「きぬむすめ」での藻塩米栽培も本格化しており、本年度は3人の生産者が「美味しまね認証」を取得し、1.95mmふるい目を使用した「島の香り隠岐藻塩米特選きぬむすめ」として1,049袋を出荷しました。



やすぎ

やすぎ恋花まつり開催

やすぎ花卉部会は10月7・8日の2日間、安来市中海町の道の駅あらエッサで「やすぎ恋花まつり」を開催し、生産者が市内外にやすぎの花をPRしました。安来市は県内有数の花の産地で、同部会では72戸の農家が生産に当たっています。

イベントでは、安来産の色とりどりの花を使ったフラワーアレンジメントやDIYガーデニングの無料体験、地元幼稚園・保育園児が描いた花の絵展示、消費者による花の人気投票など、華やかな会場に多くの人々が訪れました。アレンジメントに参加した児童は「去年も参加したけど、きれいなお花をいけることが出来て楽しい」と話しました。

同部会の小池隼己部会長は「今後も花の品質向上を図りながら、イベント等を通してやすぎの花の知名度アップと消費拡大を目指していきたい」と意気込みました。



JA女性部が 園児たちと芋ほり体験

10月10日、JAしまね斐川女性部は食農教育の実践として、東部保育園、荘原保育園、荘原幼稚園の園児たちを招き、5月に一緒に植えたサツマイモの苗「紅はるか」700本の収穫作業を行いました。当日は天候に恵まれ、秋晴れの下、女性部と園児たち合わせ総勢100人での作業となり、大変にぎやかな芋掘りとなりました。

今年は芋の出来が良く、大きいものが多く、園児たちも笑顔で収穫し「見て見て～、大きな芋が採れたよ」「自分の顔と同じくらいだね」と喜んでいました。収穫を終えた後で、園児たちは女性部が用意した蒸かし芋を美味しく食べていました。収穫した芋は保育園、幼稚園に配られ焼き芋にされる他、女性部の活動にも利用される予定です。



収穫した芋の前に記念撮影

家の光クッキング・フェスタ ～伝えたい島の味・ふるさとの味～

隠岐どうぜん地区本部は海士町中央公民館で10月22日、同地区本部管内では初めてとなる「家の光クッキング・フェスタ」を開催しました。

「島外から来ている高校生に、女性部と一緒に調理して島のおいしい味をおぼえて帰って欲しい」という扇谷光恵女性部長の願いにより、隠岐島前高校の寮生にも参加してもらいました。

料理研究家の枝元なほみ先生の指導により、前日から準備した地元食材をたっぷり使った先生考案のレシピ4品と、寮生考案のレシピ1品を作りました。また、米消費拡大運動「ニコニコおむすび大作戦」の一環として「隠岐牛むすび・乾燥ワカメのふりかけおにぎり」の2種類を作り、とても美味しいとの声がありました。

そのほか、枝元先生による「種子法廃止 タネがあぶない ～日本の食と農を守ろう」と題した講演や、家の光の読書会も行い、台風接近で悪天候の中でしたが、笑顔で元気になった一日でした。



女子大・シニア講座が 米検査見学

石見銀山地区本部のJA女子大学とシニア講座菜根館(さいこんかん)の受講生30人が、10月12日に地域の米作りについて学びました。

一同はJAの米倉庫(大田市久手町刺鹿)で、当日出荷された米の検査に立ち会い、ライスセンターを見学。案内役の農産課吉川崇課長から説明を聞いた後、検査員が無作為に米を抜き取り、米の状態を目視で確認し、等級をつける作業を見学しました。見学後は地区本部に帰り、JAしまね石見銀山女性部フレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」が準備した、「つや姫」のおむすび、豚汁で昼食をとりました。

JA女子大学とシニア講座菜根館では、JAの基幹的作物である米について学ぶ講座を毎年のカリキュラムに入れていきます。普段一般公開していない米検査の様子やJAの米倉庫内を見学することが、地元産米のファン作りにも一役買っています。



検査の様子を見る参加者

島根きのご祭り初開催

島根きのご生産振興会は10月15日、出雲市のラピタ本店で、「島根きのご祭り」を開きました。同会から(有)奥出雲椎茸、田中しめじ工場、JAしまね出雲しいたけ部会が出店し、菌床生しいたけや舞茸、しめじなどを販売。県産の各種きのごを使用したきのご汁の販売や、きのごの展示なども行われました。

同会は県産きのごの増産、品質向上などを目的に平成25年に発足。県内の生産者15団体で構成されています。一堂に会し消費者へPRするイベントとして、きのご祭りを今回初めて企画しました。県林業課統括林業普及員の杉原雅彦さん(同会事務局)は「振興会があることを皆さんに知っていただき、県産きのごをPRしていきたい。第1回が開催できたので、今後も継続していきたい」と話しました。

当日は試食販売も行われ、しいたけや舞茸が焼ける香ばしい匂いに多くの人が集まりました。また、しいたけマスコットキャラクターの「サンマッシュくん」も登場し会場を盛り上げました。



各団体が試食販売でPR

西いわみ

西いわみメロン部会 「アールス初出荷」

西いわみ地区本部では10月9日、秋作のメロン「アールス」の出荷が始まりました。

特産のアムスメロンや春作トマトの後作として栽培しており、7月上旬から中旬にかけて種をまき、7月下旬から8月中旬に定植したものが収穫期を迎えました。

同地区本部の営農経済部担当者は、「定植期からの天候に恵まれ、玉太りやネット張りは上々の出来となった」と話しました。

当日は益田市飯田町のJA多品目選果施設の12戸の農家が950箱（一箱8キロ）7.6トンのアールスメロンを持ち込みました。

出荷は11月上旬までの約1ヶ月、主に大阪市場へ出荷します。JAでは今年度の計画を出荷量132トン、販売金額を6,200万円としています。



島根おおち

「ふれあい農園」芋掘り交流会

島根おおち青年連盟、女性部、島根おおち地区本部の3者が協力し、10月10日、邑南町中野地区の「ふれあい農園」で保育園児を対象に芋掘り交流会を開催しました。管内10保育所から園児112人が参加し、青年連盟が園児らと共に6月に植えたサツマイモを収穫し、女性部が昼食会を開きました。

今年は、夏場の天候が良かったことから生育が良く、サツマイモが大きく育ち、園児らは、盟友の手を借りながら力いっぱい掘りました。昼食会では女性部員が、収穫したサツマイモを使って、サラダや団子汁などを作りました。また今回は同地区本部で生産している石見高原ハーブ米の新米を用意し、ラップに包んだご飯を音楽に合わせておにぎりにしました。

青年連盟の玉川幸司委員長は、「芋ほり交流会は今年で13年目を迎えました。今後も青年連盟、女性部、JAが協力し、子どもたちが土に触れ、野菜について知る機会を提供することで、地元の作物を知り、農業の良さを伝えていく活動を進めていきたい」と話しました。



昼食会でメニューについて説明する女性部員

本店

しまね子育てフェス inいわみ開催

JAしまねは10月28日、浜田市金城町のふれあいジム・かなぎで「しまね子育てフェスinいわみ」を開きました。JAの利用者だけではなく、幅広く地域の皆さまの子育てを支援することを目的に開催。今年2月の松江市くにびきメッセでの開催につづいて2回目となります。台風が近づく中、雨模様での開催でしたが、約8,000人の親子連れに会場いただきました。

メインステージでは、アンパンマンや仮面ライダー、プリキュアのステージショー。イベント会場では、輪投げやシューティングビンゴなどの縁日コーナー、ミニ新幹線やトイレールなどのアトラクションを行い、会場は子どもたちの歓声とともに賑わいました。

JAでは今後もこのようなイベントの開催などを通じて、出産・育児の支援や地域貢献の取り組みを行ってまいります。



縁日コーナーで遊ぶ子どもたち

いわみ中央

地元の食材で秋を満喫

JAしまねいわみ中央女性部弥栄（徳田マスエ部長）は10月11日、浜田市弥栄町長安本郷にある林友館で1日農家レストランを開きました。

バイク方式のランチに、地元の住民はもとより、多方面からも来場されて会場はいっぱいになり、約100人が秋を満喫しました。

徳田部長は「本日の農家レストランは、地元の食材がほとんどで、収穫した野菜やお米そして、山菜もすべて女性部が育てたものです。田舎料理をどうぞゆっくり召し上がってください」と挨拶しました。

秋の食材をふんだんに使い、黒米おはぎやごみ酢味噌和え、そうめん瓜やさつま芋の天ぷら、手作りこんにやくの田楽など珍しいメニューが並びました。来場者は「毎年農家レストランを開いてほしい。田舎料理が食べられて嬉しい」と話し、大好評でした。



ぎゅ〜っ と根 島大産直市 2017

12月9日(土) くにびきメッセ 多目的ホール 9:30~15:00

駐車場 旧県立プール跡地広場 (約340台)

生産者&JAが
島根農業の
魅力を伝えます♪

飲食スペース
をご用意
いたします!



島根県5高校による
“えんむすびショップ”

松江農林高校、出雲農林高校
邇摩高校、矢上高校
益田翔陽高校

着先200名様

アンケートに答えて
“たまご”をもらおう!

たまごの販売もあるよ!

杵つき餅
実演販売



地産地消の
あったか〜い
“とん汁”販売
1杯100円
11:00~
(開始予定)

島根県産
牛乳の
試飲コーナー

【協賛出店】
■島根ワイナリー ■JAアグリ島根

〈お問い合わせ先〉

JALしまね営農対策部担い手対策課 0853-25-8142

JAバンク
マスコットキャラクター



©ちよリス

〜担い手農家とTACがつくる島根の農業〜

同時
開催



アグリミーティング 2017 in くにびきメッセ

会場: くにびきメッセ 大展示場 9:30~15:00

主催: JALしまね JA全農

※記載の催しの内容および開催時間等は予告なく変更となる場合がございますので予めご了承ください。※記載のイラスト等は全てイメージです。



ハクサイ の 上手な貯蔵方法

板木技術士事務所 ● 板木利隆

大きく育ち、固く結球したハクサイは、一斉に収穫するだけでなく、ある程度畑に残して順次収穫し利用したいものです。

この場合、畑でそのままにしておくと、厳しい霜や寒風のために、球の頂部の柔らかい葉や外葉がカサカサになり、やがてそこから腐って食べられなくなります。防寒対策を施して長い間利用したいものです。

一番簡単な防寒対策は、霜が降り始めたころ、先に収穫した株の少ししおれかけた外葉を球の頭上に4~5枚覆いかぶせておくことです。少ししおれかけていた方が球になじみやすく風で吹き飛ばされにくいので好都合です。

畑にある程度長く置く場合は、なるべく多くの外葉で球を包むようにして、ポリテープや細縄などで縛っておきます。元気が育つと葉折れがひどく、作業しにくいので、多少霜に遭い葉が柔らかさを増してから作業するようにしましょう。

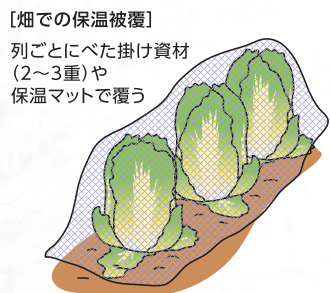
相当広い面積の畑で多数の株を貯蔵するには、べた掛け資材（長繊維不織布、割繊維不織布）を広げて、頭上に2~3枚重ね掛けするのが効果的です。プラスチックフィルム、特にポリフィルムは、じか掛けにするとその直下は一時的に外気温よりも低くなってしまいますので、使用しないでください。

大面積の栽培での本格的な貯蔵法として困り貯蔵法

があります。これは、ハクサイを畑から根ごと引き抜いて、別の場所に根を下方に向けて密に並べ置き、上に稲わらなどの保温材で覆って寒さから守る方法です。この場合、寒害を受ける前に、通常よりもやや若取りすることが大切です。そして寒害を受ける直前に貯蔵に取り掛かるよう配慮します。この方法を上手にすれば、約2カ月も長期貯蔵することが可能です。

いずれの防寒、貯蔵方法でも、貯蔵する前にアブラムシやアオムシなどが寄生していると増殖してしまう恐れがあるので、事前に薬剤防除をすることが肝要です。

収穫後に短期間品質を保持するには、新聞紙にくるんで涼しい場所に立てて置くのが簡単です。これで約1週間鮮度を保てます。



【畑でまとめて貯蔵(約2カ月)】
根を付けたまま株を引き抜き、まとめて稲わらで覆う



【家庭での簡易貯蔵(約1週間)】
新聞紙にくるんで冷暗所に。頭を上に向けて

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

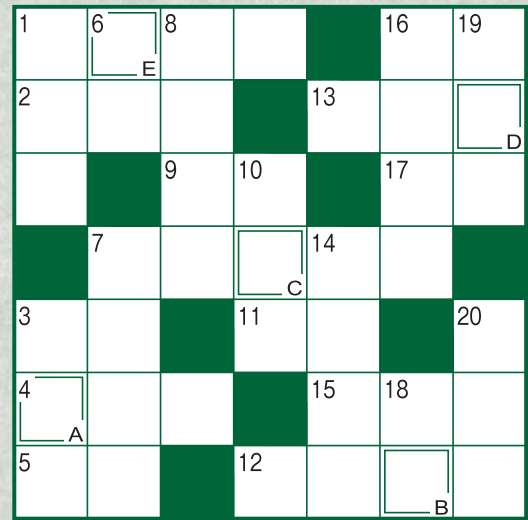
タテのカギ

- ① 2人組はコンビ、3人組は—
- ③ 親同士がいとこです
- ⑥ —に交われれば赤くなる
- ⑦ 「おはよう」とか「さようなら」とか
- ⑧ コロンブスはインドを目指して—を続けました
- ⑩ カカオ豆から作る飲み物
- ⑬ サンタクロースが乗ったそりを引きます
- ⑯ ブーケともいいいます
- ⑰ 太陽が沈むとやって来ます
- ⑱ 進化の反対語
- ⑳ 人の言葉をまねるのがうまい鳥。—返しに答える

ヨコのカギ

- ① 大みそかには—そばを食べる人も多い
- ② 英語ではドラゴン。想像上の生き物です
- ③ 物を燃やすと残るもの
- ④ 鶏の頭の赤い冠
- ⑤ 何度も練習して、ようやく—をつかんだ
- ⑦ 「山!」「川!」
- ⑨ 現在よりも前です
- ⑪ 庭に掘りたがる犬もいます
- ⑫ デジタルカメラには装填(そうてん)しません
- ⑬ 少年剣士たちが振る物
- ⑮ 月曜と水曜の間
- ⑯ お子様ランチに立てられていることも
- ⑰ 狩りにも使われる鳥

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか?



答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒693-8585 出雲市今市町106-1
JAしまね 出雲地区本部 情報システム課 「クイズ」係
平成29年12月5日(火)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「コハルビヨリ」



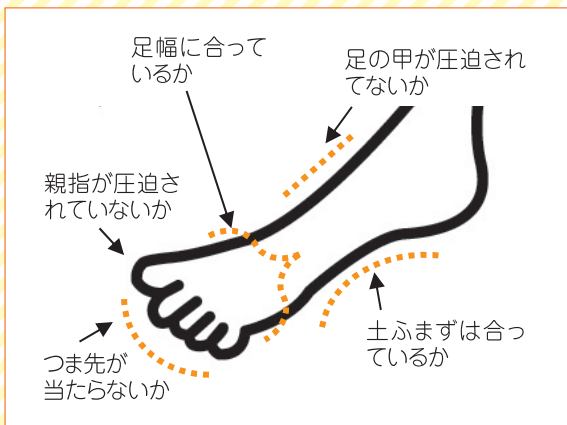
お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

健康散步 JA島根厚生連

正しい靴選び

「足は第二の心臓」と言われていることをご存じですか? 足は歩行や運動をすることで筋肉を動かし、血液循環を促進させて足の裏まできた血液を全身に送り返すポンプのような役割をして心臓の動きを助けています。元気な体をつくるうえでも、歩行や足の運動は大切なポイントです。しかし、足に合わない靴は、足・膝・腰の痛みや、転倒の原因になることもあるため、正しい靴選びは重要です。つま先の細いハイヒールを長期間はいて外反母趾になったり、タコやウオノメ、扁平足、巻き爪になったりすることもありますから、足に合った靴を履くことで足の変形を予防することができます。

一般的に靴選びで大切な事は、つま先に余裕があり、足の甲はひもやファスナーなどで調節できる事、踵は包み込むようにしっかりと固定できる事、靴底の踵部分は幅広で安定している事などです。また、適切な中敷を選ぶことにより外反母趾やO脚による膝の痛みを和らげることが出来る場合もあります。





安全・安心届けます

出雲で採れるうまいもん

「ひらたの柿」



JAしまね出雲平田柿部会 部長
川瀬 利治さん

生産者インタビュー

今月は万田町で、「西条柿」40アールを栽培する、JAしまね出雲平田柿部会の川瀬利治さんにお話を伺いました！

柿の栽培を始められたきっかけはなんですか？

この辺りは傾斜が多く、家の農地も段々になっていました。この土地で出来るものを、と考える中で、平田が柿の産地であることから柿を選びました。栽培を始めたのは親の代で、私が2代目になります。

柿を栽培する上で心掛けていることを教えてください。

防除暦で安全・安心に努め、高品質で糖度の高いものを出荷するよう心掛けています。今年是一般に豊作で庭先にも多くなっていますが、ぜひ平田の柿と食べ比べていただきたいと思います。また、作業効率が良くなるよう、低樹高で栽培するように育てています。

柿栽培の魅力はなんですか？

「高品質な柿を栽培し、所得向上を図るにはどうしたらよいか」を経営者として自分で考え、実行し、それが成果に繋がるのが魅力ですね。良い柿を作るのは

大変で、1年中手をかけなければいけません。秋にはそれがしっかり返ってくる作物だと思います。消費者の皆さんに喜んでいただけるのが苦勞も報われます。

平田地区の柿の栽培について教えてください。

平田柿部会では、平成27年9月に将来に向けた「ひらたの柿産地活性化プラン」を発表しました。今年春にはスーパークーリングシステムを導入した冷蔵施設の建設や、リース団地の整備がされるなど、ハード面でも整備が進んでいます。リース団地は4・7ヘクタールが整備され、3人の若い生産者が入植しました。園地がまとまっていて作業効率も良いので、団地での栽培はこれから主力となってくるのではと考えています。また、栽培技術でも、「ジョイント栽培」という、狭い間隔で直線に植えた柿の樹を、つなぎ合わせて栽培する方法に試験的に取り組んでいます。樹高が低くなり、作業や収穫がしやすく効率が良いので、成果が上がれば所得向上につながられると考えています。

「ひらたの柿」のPRをお願いします。

平田の柿としては「西条柿」(渋柿)の合わせ柿、「伊豆柿」「富有柿」などの甘柿のほか、「西条柿」を加工した「あんぼ柿」(干柿)も人気です。今年建設された冷蔵庫を活用することで、「あんぼ柿」を製造できる期間を今までより延長することができるようになりました。今年はクリスマスや年末といった需要期にも「あんぼ柿」を出していきたいと思っています。

甘くておいしい平田の柿は、リピーターの方もたくさんおられます。ぜひたくさんの方に味わっていただき、そのおいさを周りの皆さんに紹介していただきたいと思います。



柿の栄養

柿はビタミンCが豊富な果物です。大きめの柿を1個食べると、1日に必要なビタミンCの目標摂取量をほぼ満たすことができます。ビタミンCは美肌効果のほか、免疫力を高める効果が期待できます。これからだんだん寒くなり、風邪をひきやすくなる季節にピッタリの果物です。β-カロテン、ビタミンB群、カリウムなどのミネラルと各栄養素がバランスよく含まれているのも特徴です。

渋み成分のタンニンには血圧を下げる効果があると言われていています。アルコールを分解する酵素も含まれていて、血中アルコール濃度の上昇を抑制するうえ、利尿作用のあるカリウムも含まれているため、二日酔いに効果的です。また、加工品の干し柿は、食物繊維の優れた供給源で、便秘の予防・改善に役立ちます。

ひらたの柿ホームページリニューアル!

J Aしまね出雲平田柿部会は、今年ホームページをリニューアルしました。

facebookなども活用し、新しい情報を常に更新するほか、LINEでお友達になっただ方には随時お得な情報をお届けしています。



<http://hiratanokaki.com/>

平田柿部会

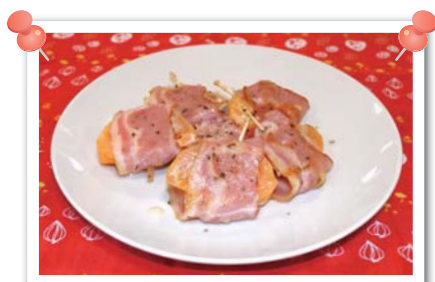
検索

LINE@
ひらたの柿
お友達募集中♪



柿の美味しいレシピ

柿とチーズのベーコン巻き



〈材料〉[6個分]

- 柿…………… 1/2個
- ブラックペッパー… 適量
- ハーフベーコン… 6枚
- バジル(乾燥)… 適量
- スライスチーズ… 2枚
- オリーブオイル… 適量

〈作り方〉

- ① 柿を6等分にカットする。
- ② スライスチーズ1枚を3つに切って、ベーコン、チーズ、柿の順に重ねる。
- ③ ②を手前からくるくると巻いて、爪楊枝で止める。
- ④ ②と③の作業を繰り返し、6個作る。
- ⑤ オリーブオイルを入れてフライパンを熱し、④を焼く。ブラックペッパーとバジルを振りかける。
- ⑥ チーズが溶けて、ベーコンに焦げ目が少し付いたら出来上がり。

柿と大根のパリパリサラダ



〈材料〉[2人分]

- 柿…………… 2個
- オリーブオイル… 大さじ2
- 大根…………… 4cm
- 炒りくるみ(刻む)… 大さじ2
- 塩…………… 2つまみ
- デイル…………… 少々
- レモン汁… 小さじ2
- こしょう…………… 少々

〈作り方〉

- ① 柿は種を取り除いて3mmの厚さに切る。大根は1mmの厚さの輪切りにして冷水にさらしてばりっとさせる。
- ② 大根の水気をペーパータオルで押さえて取る。器に大根と柿を適量並べ、塩、レモン汁、オリーブオイル少々をふりかける。
- ③ 同様に大根と柿を並べて塩とレモン汁、オリーブオイルをかけ、ミルフィーユ状に重ねていく。最後にくるみとちぎったデイル、こしょうを散らし、オリーブオイルをまわしかける。

ほっとで楽しいニュースが満載!

秋の収穫感謝祭! 各地で農業祭り開催

J Aしまね出雲地区本部は、10月上旬から11月中旬にかけて、管内各地で農業まつりを開催しました。今年のテーマは「食と農の縁結び 生まれる地域の元気と笑顔 いずもの米消費拡大プロジェクト」とし、安全・安心な出雲の農畜産物を広くPRすることを目的として開催しました。

11月3日には、出雲地区本部前駐車場で「第3回 J Aしまね出雲地区本部農業まつり」を開催。天候に恵まれ、多くの来場がありました。ステージでは、北陽ドリームエンジェルスによるチアダンスや J A 女性部による舞台発表などが会場を盛り上げたほか、出雲光一さん、陰山亜希さんによるコンサートには多くの観客がステージ前に集まり、素晴らしい歌声に聴き入っていました。屋台コーナーには、西浜いもや神門梨をはじめとした特産品、新鮮野菜の直売所などが多数出店。熊本復興支援として、出雲の野菜と熊本のお肉がたっぷり入った女性部特製のカレーライスも販売しました。

今年も業績還元により景品を多数用意してスタンプリアー抽選会を実施し、会場は最後まで多くの来場者で賑わいました。



北陽ドリームエンジェルスによるチアダンス



女性部による舞台発表

平成29年産ぶどう出荷反省会を開催 税込キロ単価1,300円を達成!

J Aしまね出雲ぶどう部会は11月7日、大社文化プレイスうらら館で平成29年産ぶどう出荷反省会を開催しました。部会員や関係者約350人が出席し、今年産ぶどうの生育概況や出荷販売状況の報告のほか、来年度の販売方針などを確認しました。

今年産の島根ぶどうは、テラウエアが4月19日に初出荷を迎えました。税込キロ単価1,300円の必達を目標に掲げ、市場、産地一体となって出荷販売に取り組む、天候にも恵まれ、赤秀比率は昨年より6%高い75%と、高品質なテラウエアが出荷されました。「粒張りの良いゆる房」に仕上げるステップアップ規格も消費者ニーズに合っており、高い評価を得ており、出雲地区本部のテラウエアの税込キロ単価は1,339円と目標を大きく上回り、共販開始以来の最高単価となりました。

大粒系ぶどうのシャインマスカットについては天候にも恵まれ、盆前までの出荷量が48トンと前年を30%強上回る出荷量となりました。品質も向上しており、他県の産地に引けを取らない評価を得ています。

同部会の園山榮部会長は「単価1,300円を達成し、次のステージに進んでいきたいと決意しています。もうかるぶどう作りを皆さんで頑張ってください」と部会員に呼びかけました。



挨拶をする園山部会長

中国地区 J A 営農指導員交流集会 平田の柿産地活性化について発表

平成29年度中国地区 J A 営農指導員交流集会が10月25日、26日の両日、出雲市で開催されました。中国5県の J A 営農指導員や中央会・全農の関係者ら約120人が参加し、講演や各県の事例発表を通じて営農指導員の相互研鑽と資質向上を図りました。

25日は5県の J A 代表者が各地域の特産品の産地化や、都市型 J A の産地形成、ICT (情報通信技術) の活用について営農指導の成果を発表。最優秀賞には平田の柿の産地活性化について成果を報告した、 J A しまね出雲地区本部東部営農センターの横野直人営農相談員が選ばれました。柿の貯蔵施設の建設、SNS 活用による産地PR、リース団地の整備など、生産者所得向上に向けた積極的な事業展開や、後継者確保への具体的な取組について発表したものです。横野営農相談員は J A 営農指導実践全国大会に中国地区の代表として出場することになっています。

記念講演では、昨年同全国大会に出場した J A やつしろ中央営農センターの富永隆裕センター長代理が、熊本県八代地域の露地野菜産地化について事例を発表。現在注目されている GAP についても同 J A の取組を紹介しました。26日は J A しまねくにびき地区本部でキャベツの産地振興と GAP への取組を視察しました。



平田の柿について発表する横野営農相談員

小学生が菌床しいたけの収穫体験 JAしまね出雲しいたけ部会西部支部

出雲市立高松小学校の2年生30人が10月6日、JAしまね出雲しいたけ部会の三島茂部会長のハウス（出雲市高松町）で菌床しいたけの収穫を体験しました。生活科の「町たんけん」の授業で行ったもので、いくつか訪問先がある中からしいたけ農家を選んだ児童が参加。同部会西部支部が食農教育活動の一環で昨年からの協力をしています。

収穫方法などについて説明を受けた児童は、おいしいような菌床しいたけを自分で選んで収穫しました。収穫後は質問の時間も設けられ、菌床しいたけの栽培方法や食べ方などについて、児童はメモをとりながら熱心に学びました。三島部会長は「しいたけが嫌いな子もたくさんいます。収穫体験を通してしいたけに興味を持ってもらいたい」と話しました。

「神々の国 出雲しいたけ」として商標登録されている同部会の菌床しいたけは、肉厚で市場からも高く評価されています。平成28年度の販売高は約3億5,700万円。部会員も増加傾向にあり、4億円の突破を目指しています。



菌床しいたけの収穫方法を説明する三島部会長

団体取得に向けて美味しまね認証研修会 JAしまね出雲アスパラガス部会

JAしまね出雲アスパラガス部会は10月13日から26日にかけて、県独自の農業生産工程管理（GAP）制度「美味しまね認証」の研修会を開催しました。同認証について部会全体で理解を深め、団体取得に向かっていく計画です。

研修会は3地区に分かれて開催し、認証取得にあたって具体的に準備すべきことなどを学びました。講師を務めた島根県東部農林振興センターの原卓専門農業普及員は「認証取得に向かうことで、作業場も整理でき、部会員同士での情報共有の機会にもなる。経営的にプラスになる部分もある」と話します。

研修会は部会員全員を対象に開催。同部会の林則男部会長は「将来に向けて多くの部会員に取組んでもらいたい」と話しました。



美味しまね認証について説明する原専門農業普及員

小林幸子コンサート開催 年金受給者・ゆとり会の皆様へ

JAしまね出雲地区本部は10月18日、19日の両日、出雲市民会館で「小林幸子コンサート」を開催しました。18日、19日午後は年金受給者コンサート、19日午前中はゆとり会コンサートとして開催。2日間4公演で約4,400人が来場し、会場は賑わいました。

小林さんがステージに登場すると、会場は大きな歓声に包まれました。「おもいで酒」など17曲が披露され、素晴らしい歌声に来場者は聞き入っていました。コンサートの合間には、「西条柿」や「多伎いちじく」の加工品など、管内の特産品と花束を小林さんに贈呈しました。

出雲地区本部では、年金振込口座をご指定いただいているお客様を対象に「年金受給者の集い」や日帰り旅行、一泊旅行などを皆様の親睦を目的に実施しています。



素晴らしい歌声で17曲を披露

直売会員80人が消費者と交流 ラピタ農産物直売会感謝祭開催

JAしまねラピタ農産物直売会は10月21日と22日の両日、ラピタ全店で感謝祭を開催しました。直売会商品を購入したお客様を対象にガラポン抽選会を実施。ラピタ本店では21日に同直売会青年部の企画で軽トラ市や、直売会商品のブルーベリーやほうれん草を使ったスムージーを販売するなど、会場は賑わいました。

同直売会の佐野祐治会長は「ローテーションを組んで多くの会員が参加し、消費者と交流することができた」と話します。管内に9店舗あるラピタ各店で抽選会を実施し、交代で約80人の会員が直売コーナーの利用者と交流を図りました。

同直売会はラピタ全店にある直売コーナーに農産物や加工品を出品しています。自分で価格を決めるスタイルで、会員からは売れ行きなどを見ながら収益性を高めていくのが面白いという声もあります。平成29年度は販売高4億2,400万円を計画しています。



店内の軽トラ市が注目を集めた

遙堪小学校5年生 自らが田植えをした稲の刈り取りを体験

出雲市立遙堪小学校の5年生は10月11日、大社町遙堪地区の水田で稲刈りを体験しました。地元の鐘ヶ崎営農組合の協力を得て実施されたもので、28人の児童が5月に自分たちで植えた稲を刈り取り、収穫の喜びを実感しました。

児童は鎌の使い方や稲の束ね方などを教わってから交代で稲刈りを開始。体験した児童は「稲刈りは初めてだったけど、慣れてきたら上手にできるようになりました」と感想を話しました。児童は刈り取った稲を小学校へ持ち帰り、干して乾燥させたほか、ライスセンターでの脱穀の様子も見学しました。

鐘ヶ崎営農組合の足立勝司組合長は「体験を通じて農業を好きになってもらい、一人でも農業を志す子どもたちが増えてくれれば嬉しいです」と話しました。



自分たちで植えた稲を刈り取る児童

大きなおもがたくさんとれたよ！ 園児が西浜いもの収穫体験

出雲市内の6保育園・1幼稚園が10月24日～27日の4日間、湖陵町の大山オーナー農園で特産の西浜いも（さつまいも）の収穫体験を行いました。この農業体験は、食と農の大切さを学ぶ場として農園管理人の鎌田勉さんが毎年開催しています。今年は四絡幼稚園が加わり、例年より多い約400人の園児が参加。6月に自分たちで植えた「べにはるか」の収穫を楽しみました。

園児たちは、先生や保護者の手を借りながら慎重に収穫。大きく育った西浜いもが採れると、歓声を上げて喜んでいました。

鎌田さんは「伝統ある西浜いもの産地で子どもたちに収穫を体験してもらいたいと思い、この場所で始めました。出雲の特産である西浜いもを知ってもらい、興味を持ってもらえると嬉しいです」と話しました。



熱心に芋を掘る園児たち

ほっとで楽しいニュースが満載！

JAしまねカップ開催 JA共済のお知らせ活動も実施

出雲ミニバスケットボール連盟は10月7日、8日の両日、「第6回JAしまねカップ 兼 第44回島根県ミニバスケットボール大会 出雲地区予選」を開催しました。この大会は小学生の健全育成および地域に根ざした活動として、JAしまねが共催しています。今年はお出雲市内の小学生、男子10チーム、女子13チームの合計23チームが出場し、熱戦を繰り広げました。試合の結果、男子は塩冶オールスターズ、女子は大津ドリームスが優勝に輝きました。

また、7日にはカミアリーナ会場でJAの関係作り・事業PRを目的に同JA出雲地区本部のLA(ライフアドバイザー)が子育て世代の方を対象としたアンケートを実施。ご協力いただいた方に「おさいふカード」への500ポイント加減券をお渡ししました。チラシの配布なども行い、大会を通じてJA共済事業を知ってもらう機会となりました。



JA共済アンケートも実施

米の食味コンクールでレベルアップ JAしまね出雲稲作研究会

JAしまね出雲稲作研究会は10月25日、JAしまね出雲地区本部で平成29年度「まい米コンクールいずも」を開催しました。管内31人の生産者が「コシヒカリ」「きぬむすめ」「つや姫」を出品。食味分析の結果、塩野一男さんの「コシヒカリ」が総合1位に輝きました。受賞した米は11月25日、26日の両日に山形県で開かれる「米・食味分析鑑定コンクール：国際大会」に出品される予定です。

このコンクールは消費者に求められる良食味米の生産を迫ることを目的に、毎年開催されています。同研究会の安食哲夫会長は「コンクールを通じて研究し、全体のレベルアップを図ることを目的としています。出雲の米の評価を高めていきたい」と話しました。

当日は、島根県独自の農業生産工程管理（GAP）制度「美味しまね認証」の説明会も同時に行われました。



挨拶をする安食会長

大学生がこんにやく作りに挑戦 JA女性部らが指導

島根大学の学生が10月28日、JA稗原支店でこんにやく作りをしました。5人の学生たちが、JA女性部稗原支部の部員らの指導を受けながら、4月に自分たちの手で定植したこんにやく芋を加工しました。学生たちは、こんにやく芋の定植、加工、「稗原マルシェ」での販売を通して6次産業化について学びます。

稗原地区では、同地区の魅力と農産物のおいしさを地区内外にPRすることを目的に平成27年から「稗原マルシェ」を開催しています。今年7月の開催時にも学生たちが参加し、稗原産の食材を使ったメニューを農家レストランで販売しました。今回作ったこんにやくも、11月12日に開かれた「稗原マルシェ」(稗原総合文化祭「農業まつり」と同時開催)で販売する商品の開発に活用しました。

参加した学生は「こんにやくは初めて作った。最初にこの作り方を発見した人はすごい」と話しました。



女性部員たちとこんにやくを作る大学生

島根ぶどう園コンクール 島根シャインマスカット品評会褒章授与

JAlしまねは10月20日、同JA営農経済本店で平成29年産島根ぶどう出荷反省会を開催しました。生産者代表と市場、関係機関が、本年産の生産・販売結果の報告をするとともに来年産に向けて生産・販売方針について協議しました。また、同会の中で、第32回島根ぶどう園コンクール(品種デラウェア)と平成29年産島根シャインマスカット品評会(8月3日開催、受賞者はJAlしまねびより8月号掲載)の褒章授与がありました。ぶどう園コンクールでは、出雲地区本部から出雲ぶどう部会大社支部の今若誠二さんが農林水産大臣賞を受賞されました。

その他の出雲地区本部受賞者は以下の通りです。

- ▼中国四国農政局長賞 佐藤誠一さん(大社支部)
- ▼島根県知事賞 大梶泰男さん(大社支部)
- ▼島根県農業協同組合長賞 田口初雄さん(出雲支部)
- ▼島根県果樹研究同志会長賞 加藤功さん(出雲支部)



ぶどう園コンクール受賞者(前列左より)
田口初雄さん、佐藤誠一さん、今若誠二さん、加藤功さん
シャインマスカット品評会受賞者(後列左より)
吾郷均さん、伊藤康浩さん、浅津英雄さん、前島英樹さん、門脇雅宏さん

今年もかに食べ放題 JAしまね出雲地区本部ラピタ

ラピタ本店4階特設会場で、今年も「かに道場」がオープンしました。11月1日に開かれたオープニングセレモニーには約60人が来場し、山のように盛られた新鮮なベニズワイガニを心行くまで味わいました。

かに道場は、4~9月にビアガーデン事業を展開するラピタが、冬の時期にも来場者に喜んでいただけるイベントとして平成27年から始めました。女性の利用も多いことから、今年は女子会プラン(女性4人以上の予約で300円の割引または30分の時間延長)を企画しました。また、カニ以外にもサザエ、イカなどの魚介類も食べ放題に加えたほか、カクテルバーコーナーを新設するなど、内容も充実させています。

営業時間は17時から21時。来年の3月11日まで年末年始を除いて毎日営業します。定額制のバイキング方式で、制限時間90分の食べ・飲み放題。入場料は成人男女が3,900円。中学生以上20歳未満が2,900円で、小学生以下は1,900円。

ご予約・お問い合わせは出雲地区本部生活部プライダル課、(電)0853(21)6063まで。



山のように盛られた新鮮なボイルベニズワイガニ

夜光反射材着用で交通事故防止を 「キラリ推進隊」を受嘱

JAlしまね出雲地区本部は10月31日、出雲警察署で反射材着用推進リーダー「キラリ推進隊」の委嘱を受けました。

キラリ推進隊は、自らが率先して夜光反射材を身に付けて歩くことで、その姿を見た歩行者や自転車の運転者に対し「夜光反射材を着用しよう」という気運を醸成することを目的としたものです。例年日没時間が早まるこの時期に委嘱が行われています。

同地区本部では交通事故防止を願い、市内の新中学1年生への夜光反射材贈呈や、出雲市へのカーブミラー贈呈などの交通事故未然防止活動を行っています。今後も交通安全に対する意識を高める活動に取り組んでいきます。



委嘱を受ける吉田博幸副本部長(左)

中国農業技術交流団 菌床しいたけを視察

中国から来日した4人の農業技術交流団が10月25日、JAしまね出雲地区本部を訪問し、同地区本部のパッキングセンターと菌床しいたけ農家を見学しました。島根県が、中国との国際交流の一環として迎えたもので、同JAくにびき地区本部、雲南地区本部の施設見学も行われました。

パッキングセンターでは、同JA出雲地区本部販売開発課の板垣職員が施設の概要を説明。同交流団から多くの質問を受けるなど、活発な交流が行われました。JAしまね出雲しいたけ部会が県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に取り組んでいることにも触れ、安全・安心な出雲の菌床しいたけをPRしました。



パッキングセンターを見学する農業技術交流団

しいたけ部会員全戸を個別訪問 「美味しまね認証」取得に向けて

JAしまね出雲地区本部は、11月6日から27日にかけて、JAしまね出雲しいたけ部会の「美味しまね認証」取得に向けた巡回を行っています。島根県東部農林振興センター出雲事務所の大国隆二課長、JA総合指導課の大野宮農指導員らが同部会の部会員65戸を個別訪問。巡回を通して、現場の状況を把握、改善するとともに、改めて部会全体の意思統一を図ります。

巡回では、作業場などが整理・整頓されているかを確認したほか、衛生管理や事故防止のために注意すべきことなどを説明しました。全体が統一したルールで作業するために、同部会では部会担当者と連携し、圃場管理や収穫・調製のルール、マニュアル作りも進めています。

12月には講習会を開催する予定で、来年3月の認証取得を目指しています。2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックを契機に農業生産工程管理（GAP）に注目が集まる中、同部会では県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得にスピード感をもって取り組んでいます。



各部会員のハウス、作業場を個別訪問

ほっとで楽しいニュースが満載！

健康ライフかわら版

「運動習慣を身に付け、ロコモを予防しましょう！」

◇最近、運動をしていますか？

運動をしないと、骨、関節、筋肉などの運動器が衰え、「ロコモ」になる危険性があると言われています。「ロコモ」とは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の略語で、骨、関節、筋肉などの運動器の衰えにより、要介護になったり、その危険が高い状態を言います。

◇7つのロコモチェックをしてみましょう。

- 片脚立ちで靴下がはけない。
- 階段を上がるのに手すりが必要。
- 家の中でつまづく、滑る。
- 15分くらい続けて歩くことができない。
- 横断歩道を青信号で渡りきれない。
- 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難。
- 家のやや重い仕事が困難である。
(掃除機の使用、布団の上げ下ろし)

一つでも当てはまったら、要注意です。

詳しくは、「島根県 ロコモ」で検索！

みんなでめざそう！ロコモ予防で健康長寿！

バランス能力をつける「片脚立ち」

めやす

左右1分間ずつ、1日3回

- 姿勢をまっすぐにして行うようにしましょう。
- 支えが必要な人は、十分注意して、机に両手か片手をつけて行います。

転倒しないように、必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

指をついただけでもできる方は、机に指先をつけて行います。



床につかない程度に、片脚をあげます。

◇ロコトレ（ロコモーショントレーニング）で、バランス能力や下肢筋力をつけましょう！

- 支えやつかまるものがある安全な場所で行いましょう。
- 無理に試して転んだりしないように注意しましょう。
- 体に不調がある時は、控えましょう。

◇運動のすすめ

運動には筋力アップの他に、糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、うつ、認知症などになるリスクを下げる効果があると言われています。

若いうちから、1日10分でも長く歩くことから始めましょう。

お問合せ先

出雲保健所

健康増進課

TEL 21-8785

生産資材課からのお知らせ

期限切れ農薬・空容器の 回収について

期限切れの農薬、農薬の空き容器の回収を行います。処分を希望される方は、各営農センターまたは支店備え付けの農薬廃棄処理申込書に記入して、11月30日までに提出して下さい。

廃棄処分については有料となりますので、処理料金等詳しいことは各営農センターまたは生産資材課までお問い合わせ下さい。

回収時期は1月上旬を予定しています。申込み頂いた方には、改めて回収日、回収場所をお知らせ致します。

お問い合わせ・お申込み先

- | | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| ● 中部営農センター | 31-9055 | ● 河南営農センター | 43-7007 |
| ● 東部営農センター | 62-9059 | ● 南部営農センター | 84-0213 |
| ● 西部営農センター | 53-2168 | ● 生産資材課 | 21-6047 |

俳句の広場

選者 安食彰彦先生

◆ 月間最優秀賞

ひび割れし妻の手にぬるアロエかな 上塩治町 松本弘子

選者評

長年連れ添った妻。毎日仕事、家事をして手にひびが出来た妻の手に「医者いらず」と言われたアロエをぬってあげている御主人。すばらしい夫婦愛。

◆ 月間優秀賞

新米や相性の良き木の杓文字 東福町 岩本ひろこ

一合で足りぬ晩酌良夜かな 荒茅町 川上治利

手作りに舌鼓みせし敬老会 知井宮町 小玉信恵

◆ あなたの俳句を募集します

◆ 応募方法

俳句、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキまたは FAX で応募ください。
※お一人様3句までご応募いただけます。※11月応募分の締め切りは11/30(木)必着です。

◆ あて先

T 693・85885 出雲市今市町106・1

J A しまね出雲地区本部「俳句の広場」係

(FAX: 21・6249)

※応募作品は自作で未発表のものに限ります。※応募作品の一切の権利は、JAしまね出雲地区本部に帰属するものとします。※月間最優秀賞にはUFJニコス券3,000円分、月間優秀賞にはUFJニコス券1,000円分を進呈いたします。※受賞作品については地区名、氏名(または俳号)を掲載します。



出雲市西代町
はまさき としお
浜崎 俊雄さん (81歳)
たかこ
貴子さん (83歳)



西代町で農業を営む浜崎さんご夫婦。周辺の農地を集積して平成15年に設立された「農事組合法人グリーンファーム西代」の一員です。数年前に息子さんに代替わりをしましたが、お二人は水田の水管理や除草などで関わっています。「グリーンファーム西代」の高品質な米生産を支えるのが徹底した栽培管理。構成員が班をつくって担当の水田の栽培管理を行います。俊雄さんは「毎年順番で担当する区域が決まっているので、責任感を持って取組んでいます」と話します。

法人設立前は120アールで水稻を栽培。今のような機械がない頃から農業をされています。「昔は「はで場」で稲を干していました。強風で「はで場」が倒れたという話はよくありましたが、うちは一度もありませんでしたね」と当時の様子を話してくださいました。

また、俊雄さんは地元の子どもたちに剣舞の指導もしています。かつて青年団で剣舞を舞っていた仲間たちと一緒に、地域の伝統芸能を受け継いでいます。貴子さんは、昔から積極的に女性部活動に参加してきました。今も女性部の旅行をいつも楽しみにしているそうです。

健康の秘訣を尋ねると「今までずっと農業で力仕事をして、体を動かしてきたのが良かったと思います。今も朝は軽く体操をしてから起きています」と話す、ますます元気なお二人です。



Smile
きらりスマイル

新規就農者の佐藤由佳

さんは、自宅のある東神西町から少し離れた大社町でシャインマスカットを30アール栽培しています。

由佳さんは昔から農業に興味があり、小さい頃から家の畑を手伝っていました。農林高校を卒業し、大阪の専門学校を経て地元の農業法人に就職。いろいろな野菜の栽培に関わる中で、シャインマスカットの栽培に興味を持ったといいます。「摘粒をすることで粒が大きくなるなど、手をかけた分だけいいものができることに魅力を感じました」と話す由佳さん。学生の時は花を専門に学んでいましたが、出雲市アグリビジネススクールや研修先の受入農家でぶどう栽培について学び、今年7月に就農しました。研修先の受入農家では今もアルバイトをしていて、いろいろアドバイスをもらっています。

「消費者の皆さんに喜んでもらえるようなものが作りたいです」と今後の目標を話す由佳さん。本格的に収穫できるのは再来年以降だそうです。今後を見据えて日々ハウスに足を運び、木の観察や土壌の改良などに努めています。

出雲市東神西町

佐藤

由佳さん(25歳)

いずも食材の日

参加者募集のお知らせ

しいたけを使った料理教室

メニュー

- 五目炊き込みご飯
- 豆腐としいたけのスープ
- ピーマンとしいたけのみそ炒め
- しいたけの軸とにんじんの塩きんぴら

- 日時 平成29年12月15日(金) 10:00～
- 会場 ふれあいの家出雲 縁
- 参加費 300円
- 定員 12名(定員になり次第締め切ります)
- 持ち物 エプロン・三角巾・マイ箸・持ち帰り用容器

お申し込み先 JAしまね出雲地区本部 ふれあい福祉課 TEL 21-6013

わが家の
アイドル
わが家自慢の
アイドルをご紹介します!



かまだ かい
鎌田 海くん(10歳・右)
こう 昊くん(8歳・左)・そら 蒼くん(7ヶ月・中)

出雲市大社町

温厚で面倒見の良い小学5年生の海くん。弟の蒼くんにミルクをあげたり、抱っこしたりとよく面倒を見てくれます。小学2年生の昊くんは明るく楽しいムードメーカー。人を笑わせるのが大好きです。二人とも小学1年生の頃からサッカークラブに所属していて、サッカーを通してたくさん仲間が増えました。家でもお父さんにサッカーで遊んでもらうことがあります。末っ子の蒼くんは笑顔がすてきな男の子。家族みんなからかわいがられています。子どもの少ない鶴鷺地区では地域でもアイドル的存在。みんなに笑顔を振りまいて、幸せな気持ちにしてくれます。

今年の夏、海くんと昊くんは毎日のように海で泳いでいました。鶴鷺地区の豊かな自然の中で3人とも元気に成長しています。

おとうさん、おかあさんからの一言

蒼くんはこれからお兄ちゃんたちにいっぱい
かわいがってもらおうね。
3人仲良く助け合って、元気に成長してね。

J A しまね出雲女性部

活動紹介

上津支部「園芸サークル」

J A しまね出雲女性部上津支部の「園芸サークル」は、約15年前から活動しています。メンバーは現在37人。コケ玉づくりや年中行事に合わせた寄せ植えなど様々な園芸を楽しむほか、毎年行っている野菜の苗配りが好評を得ています。

野菜の苗配りは、女性部員を対象に注文をとりまとめています。今年はキャベツ、白菜、ブロッコリーなど8種類の苗を準備しました。J A から仕入れたプラグ苗をメンバーたちが注文に応じて仕分けをします。プラグ苗は小さな苗がトレーに何十個も連なった形のものですが、まとめて仕入れたものを注文した数量だけ仕分けもらえるので、少量からでも購入でき皆さんに喜ばれています。環境に配慮した活動もしており、今年3月にはEMを使ったぼかし肥料を作り

ました。グリーンカーテンづくりもメンバーがそれぞれの家で取組んでいます。今年行われた「第2回出雲女性部まつり&家の光大会」では、優良活動グループ表彰でラピタ

環境活動支援賞も受賞しました。今後も園芸を通じて仲間づくりをするとともに、地域の皆さんに喜んでもらえる活動を続けていきます。



高塚ヨシミ支部長の一言

私たち「園芸サークル」は、園芸の好きなメンバーが集まり毎回楽しく活動をしています。野菜の苗配りは皆さんに喜んでいただいております。女性部上津支部全体の活性化に繋がっていると思います。今後みんなで楽しみながら、地域のためになる活動を続けていきたいと思えます。

福田支店長からのメッセージ

女性部上津支部「園芸サークル」のみなさまは、37名というたくさんのメンバーで様々な活動を行っているらしいです。今年も栄誉ある賞も受賞され、日頃のみなさまの活動の成果と努力の賜物と心よりお喜び申し上げます。9月には野菜の苗配りをされ、ちようど上津小学校2年生8名の生徒が「町探検」で見学し、「J A」への関心が高まりとても有意義でした」との感想も頂きました。みなさまの地域への今後ますますの関わりと発展を期待しております。

読者のページ

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

おたより大募集

皆さまからの「おたより」を募集しております。ハガキに、聞いて欲しいこと、日々思うこと、俳句や川柳、絵手紙や写真などのご投稿お待ちしております。
(匿名希望の方は明記してください)

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
unity@jaizumo.or.jp

JA：日頃よりラピタをご利用いただきありがとうございます。どうぞいませ！名前を見て購入できるのが直売コーナーのよいところですよ。

●「食と農の縁結び産まれる地域の元氣と笑顔」JA農業まつりに行ってみようと思っております。果物や野菜の直売、ラーメンや焼きそば等の屋台コーナー。とても楽しみです。食欲の秋を楽しみたいと思います。(大社町H・Hさん)

JA：今年も11月3日に地区本部の農業祭りが盛大に開催されました。食欲の秋は堪能していただきましたでしょうか？天気も良くステーションも大盛況でしたね。

●ラピタの「農産物直売コーナー」の漬物が大好きで、ラピタに行く毎に何か一品は買って帰ります。母も高齢になって漬物もなかなか作れなくなり、「○○さんの漬物おいしいねー!!」と話をしながら一緒に喜んで食べています。(神門町A・Kさん)

●美容のために

ハトムギ茶を飲んでみます。ハトムギは輸入ものだけかと思いましたが、国内産、しかも地元で栽培していることに驚きました。これからは健康志向でハトムギに注目が集まってくると思うので、頑張つてほしいなと思いました!!
(塩治町M・Hさん)

JA：国内有数の産地が近く(斐川町)にあるというのは誇らしいですよね。誇れる地元産の農産物を毎月紹介している本誌の「島根のいいもの再発見!!」と「出雲で採れるうまいもん」。ぜひ一読くださいませ。

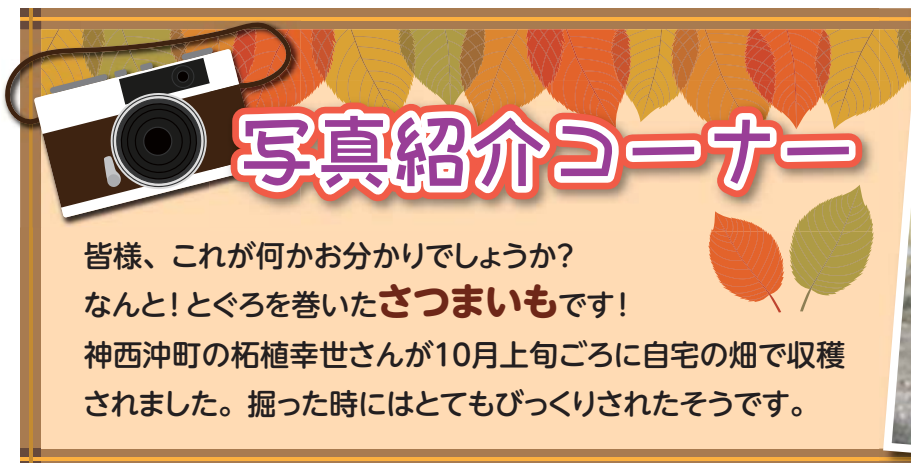
●JAしまねびより10月号、健康散歩の「酵素ってなに？」を小学生の孫にも読んで聞かせました。「すりおろすことで酵素が活性化される、その働きが何倍にもなる」と

知り、なるほどと思いました。子供の頃から風邪をひいて寝込んだ時は「すりおろしたりんご」を用意してくれました。食べやすいだけではなく、理にかなっていたんですね。
(音渡町H・Kさん)

JA：「酵素ってなに？」分かっていても分かっていなかった。私もおろしたりんごを作っても「すりおろしたりんご」を作ってもらっていました。理屈は誰も知らなかったと思いますが、「体に良いものを」という愛情は伝わってきた覚えがあります。

●ケーブルテレビでJAしまねの番組が始まるんですね。ケーブルテレビは何回も放送があるので、どこかで見る事ができますね！視聴者プレゼントも楽しみにしています。
(大津町A・Nさん)

JA：出雲ケーブルビジョンで10月24日、ひらたCATVで11月3日に放送が始まりました！農家の方の紹介や、料理コーナーは、本誌の「出雲で採れるうまいもん」のコーナーと連動しています。本誌を見ながら番組を見ていただくと、より楽しめるのではないかと思いますので、ぜひ皆さんご視聴くださいませ！



写真紹介コーナー

皆様、これが何かお分かりでしょうか？
なんと!とぐろを巻いた**さつまいも**です!
神西沖町の柘植幸世さんが10月上旬ごろに自宅の畑で収穫されました。掘った時にはとてもびっくりされたそうです。



出雲地区本部 JA給油所 営業時間変更のご案内 11/16(木)より

平素は、格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

誠に勝手ながら平成29年11月16日(木)より下記の営業時間とさせて頂きました。

お客様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。



セルフ 南SS
7:00~20:00
出雲市塩冶町 990
☎ 22-0373

セルフ 北部SS
7:00~20:00
出雲市高岡町 614-1
☎ 23-0740

セルフ 平田SS
7:00~20:00
出雲市平田町 2487-8
☎ 62-1050

白枝SS
平日 7:30~19:00
日・祝 9:00~18:30
出雲市高松町 675-1
☎ 28-0263

浜山SS
平日 7:30~19:00
日・祝 9:00~18:30
出雲市大社町北荒木 938-2
☎ 53-4355

湖陵SS
平日 7:30~19:00
日・祝 9:00~18:30
出雲市湖陵町差海 710-2
☎ 43-3476

多伎SS
平日 7:30~19:00
日・祝 9:00~18:30
出雲市多伎町多岐 474
☎ 86-9100

佐田SS
平日 7:00~18:30
日・祝 8:30~18:00
出雲市佐田町反辺 1589-1
☎ 84-0413



毎月 **1** 日・**15** 日
ガソリン大特価

JALまね出雲地区本部 石油課
TEL 28-1280

出雲市

アグリビジネススクール

受講生
募集!!「レディース&シニア
産直野菜講座」

を受講して、産直出荷しませんか!

「柿・ぶどう・いちじく・菊」

の「栽培技術」を学んでみませんか!



出雲市アグリビジネススクールでは、次の5講座を1月から12月にかけて実施します。
今回は1月から3月までの各講座の受講生を募集します。
新規就農・定年帰農をめざす人にお勧めです。

- 受講期間／平成30年1月から3月 ●受講料／3千円※ ●定員／各講座10名
- 応募要件／①出雲市に住民票を有する人、若しくは出雲市で農業をはじめの人
 - ②研修会場まで自力で通うことができる人
 - ③必要最小限の農具を使用できる人
 - ④受講中のけが等に備え傷害保険に加入できる人
(保険料は受講生負担。保険の紹介はできません)

※平成30年1月から3月までの3か月間の受講料です。
平成30年4月から12月の9か月間の受講料は別途必要になります。

レディース&シニア産直野菜講座

- ところ／宍道湖市民農園
- 研修内容／産直出荷に必要な知識の習得研修、野菜栽培研修



柿チャレンジ講座

- ところ／JALしまね出雲地区本部
東部営農センター・桧山店
研修ほ場(多久谷町・多久町)
- 研修内容／座学・栽培研修



ぶどうチャレンジ講座

- ところ／県出雲合同庁舎、
県農業技術センター
研修ほ場(浜町)
- 研修内容／座学・栽培研修



いちじくチャレンジ講座

- ところ／多伎いちじく館
研修ほ場(多伎町)
- 研修内容／座学
栽培研修



菊チャレンジ講座

- ところ／JALしまね出雲地区本部
荒木支店
研修ほ場(荒茅町)
- 研修内容／座学・栽培研修



- 座学では、栽培方法の基礎知識等を講義で学びます。
- 栽培研修では、研修ほ場で、栽培技術や管理作業などを学びます。

申込期限

12月8日(金)

申し込み・
おたずね

出雲市役所 農業支援センター TEL 21-6122 FAX 21-6998



出雲市農政会議だより

平成29年11月18日

No.73

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 原田 透

【活動内容報告】

○第3回JAしまね出雲地区本部 農業まつりへ参加

11月3日、農政会議では、地産地消・米消費拡大への理解を深めることを目的に、JAしまね出雲地区本部で盛大に開催された農業まつりに参加しました。

見事な秋晴れの中、安達会長より「各関係団体、農政会議会員の皆様のご協力により、先般執行された衆議院選挙において出雲市農政会議が推薦した候補者が見事当選できた」と御礼を述べるとともに、JAしまね役員、来賓の方々等とともに、この1年の収穫に感謝して農政会議が提供した餅を用いて、オープニングセレモニーの後の恒例の餅まきを行いました。

今年も大勢の皆様にご参加いただき、大変賑やかな農業祭りでした。



出雲地区本部理事会報告

10月27日に開催された出雲地区本部理事会の中で協議された主な議題と内容は次の通りです。

〈協議事項〉

- (1) 植物工場導入について
- (2) 農事組合法人設立に伴う出資について
- (3) 大口貸出金の承認について
- (4) 北部カントリーエレベーター色彩選別機の更新について
- (5) 給油所の営業時間変更について

11月16日より各給油所の営業時間について一部変更をしますので、ご理解とご協力をお願いします。

- (6) 大口貸出先条件変更の承認について
- (7) 出雲地区本部9月末決算状況について

皆様のご利用・ご協力により計画以上の実績となりました。今後ともよろしくお願いします。

- (8) 平成29年度業績還元実施(案)について

農業振興および地域貢献を目的に、各農業まつりへの助成、グリーンセンターでの正組合員感謝セール、ラピタ利用者への還元等の業績還元を実施します。

- (9) 旧平田支店跡地の一部売却について

〈報告事項〉

- (1) 国庫補助事業および県単補助事業の入札結果について
- (2) オール認定農業者アンケートの実施について

理事会情報 (9月28日開催)

協議事項

- ① 生産資材価格低減プロジェクトの取りまとめについて
- ② JAしまね内部統制整備方針設定について
- ③ 場所別部門別損益管理の統一基準について
- ④ 平成30年度事業計画の基本方針とスケジュールについて
- ⑤ 自己改革・組合員対策に関する今後の取り組みについて
- ⑥ 地区本部運営委員会運営規程の一部改正について
- ⑦ 文書取扱規程の一部改正について
- ⑧ 諸規程類管理規程の一部改正について
- ⑨ 「合同会社アグリサポートおーなん」への外部出資について

報告事項

- ① JAしまね農業振興支援事業のPR方法について
- ② 県への農業政策および予算に関する要望書の提出について
- ③ 平成29年度山陰ブロックTACパワーアップ大会発表大会の結果について
- ④ 西条柿共同利用施設の広域利用および

その他

- ⑤ 地区本部間連携について
- ⑥ 米穀園芸情勢について
- ⑦ 畜産情勢について
- ⑧ 平成29年度第3四半期の余剰金運用計画額および運用方針について
- ⑨ 組合と理事との取引(契約)の報告について
- ⑩ 不祥事件にかかる島根県からの注意喚起文書の受領について
- ⑪ 平成29年18号台風にかかる報告について
- ⑫ 平成29年8月末月次決算報告について
- ⑬ 特別損失にかかる会計処理について
- ⑭ 小水力発電所改修工事業者の決定について
- ⑮ 総代選挙の実施結果について
- ⑯ 平成29年度下期主な会議日程の一部変更について
- ⑰ 平成29年度「地域貢献・地域活性化団体活動表彰」受賞団体の決定について
- ⑱ 新退職金制度の設計方針について
- ① 農政をめぐる情勢について
- ② 収入保険制度の概要について(現状報告)
- ③ その他 青年理事による活動報告等

組合員アンケート調査へのご協力のお願い

JAしまねでは、より地域と一体となったJAであることを目指して、無作為に選ばせていただいた組合員の皆さま6,000名を対象にアンケート調査を実施させていただきましたことといたしました。

本年12月中旬に、対象者の皆さまに郵送にてアンケート調査票を送付させていただきますので、お忙しいこととは存じますが、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

JAしまねびより10月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P7. 第11回 全国和牛能力共進会 結果報告 第7区 (総合評価群:肉牛群) 出品No.7 JA仁多肥育センター (誤) 雲南市 → (正) 奥出雲町
 謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAはなぜ銀行や保険会社のような事業をしているの?

A 信用・共済事業を通じて、組合員の営農とくらしを守り、より豊かにするためです。

協同組合のルーツの一つは信用・共済事業です。特に農村では、地域の人々がお金や米を出し合って積み立て、そこから困った人のお金を借りたり、災害に遭われた人にお金や米を援助したりするなどの仕組みが、草の根的につくられてきました。こうした地域の「相互扶助」の仕組みが、信用・共済事業として発展してきました。

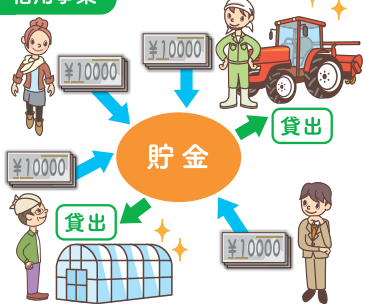
JAの信用事業は、組合員間で資金を積み立てて融通し合うので「相互金融」と呼ばれ、組合員の営農やくらしに役立てられています。

JAの共済事業は、互いを信じ救い合う「相互扶助」の精神の下で行う非営利事業です。組合員のくらしを守るため、「ひと」「いえ」「くるま」などの保障を充実させています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

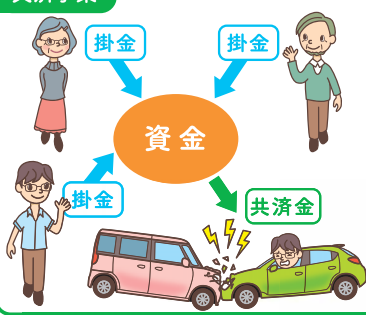
「協同の精神」に基づいて行われる JAの信用・共済事業

信用事業



JAとJA信連、農林中央金庫(農林中金)は「JAバンク」を構成して、金融機関として機能しています。JAバンクはグループ全体のネットワークと総合力で、農林水産業や国民経済の発展に貢献しています。

共済事業



JAとJA共済連が共同で共済契約を引き受け「JA共済」として保障を提供しています。JAはJA共済の窓口として各種手続きを行い、JA共済連は各種の企画、仕組み開発、資金運用、支払い共済金にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

耕そう、大地と地域のまらい。

JAしまね統合2周年企画旅行

出雲縁結び空港より



直行チャーター便で行く!!



「はての浜」久米島と宮古諸島5島巡り

現地では
JAしまね統合2周年企画として
JA特産品が当たる
抽選会を実施!!

(宮古島・伊良部島・下地島・池間島・来間島)

3日間

2泊とも2名様より1部屋ご用意

旅行実施日 平成30年

2月21日(水)~23日(金)

旅行代金 (大人お1人様2名様1室利用、出雲縁結び空港起点、税込)

149,800円

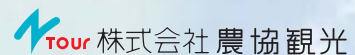
※お1人部屋ご希望の場合2泊で18,000円(税込)の追加になります。
※お1人様お申込で相部屋をご希望の場合でも、相手が見つからない場合、お1人様1部屋追加料金を申し受けます。

西部地区(島根おち・いわみ中央・西いわみ)より便利な送迎プラン

島根県西部地区より出雲縁結び空港まで往復8,000円(税込)にて送迎バスをご利用いただけます。(配車場所についてはお問い合わせ下さい)
※送迎バスプラン希望者が20名様を上回る場合、運行されません。19名様以下の場合、お客様自身で出雲縁結び空港迄お越し下さい。

掲載のツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。

※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております!お気軽に最寄りのJA旅行センターへご請求ください!



- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| JAしまねくにびき旅行センター ☎0852-55-3041 | JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305 | JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008 |
| JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699 | JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625 | JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820 |
| JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118 | JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501 | JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587 |



JAしまね

定期貯金

あったか キャンペーン 2017

キャンペーン期間 2017.11.1(水)-12.29(金)

期間中、定期貯金(20万円以上)を新規でご契約いただいた方に最大3つの特典プレゼント!!

特典1 もれなくちよリスグッズプレゼント!!

BRUNO x CHORIS
ランドリーネット

さらに
給与振込・年金受取・年金予約・各種ローン・JAカード・ネットバンクのいずれかのお取引がある方、または、期間中に新たにいずれかのお取引をご契約いただいた方
特典2・3をプレゼント!!

特典2 ちよリスグッズプレゼント!!

折たたみ時 JOURNAL x STANDARD
折たたみ時 CHORIS
使用時
レジカゴ用バッグ

特典3 ご契約いただいた方の中から抽選でプレゼント!!

美味しく食べよう島根のお米

ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。

10名様 高級炊飯器&島根米のセット

600名様 島根県産ごはんのお供セット

懸賞要領

対象商品/定期貯金(期間1年以上)、結いの恵み
※上乗せ金利の適用があるものを除きます。
※窓口でお預け入れいただいたものに限りです。

応募対象者/・期間中、定期貯金を新規で20万円以上契約または、20万円以上増額された個人の方。
・期間中、結いの恵みを新規で契約された個人の方。

賞品内容/10名様に高級炊飯器&島根米のセットをプレゼント
600名様に島根県産ごはんのお供セットをプレゼント

応募方法/対象商品ご契約額20万円につき抽選権を1口お付けします。

当選発表/平成30年1月下旬頃、ご当選された方に対し当選通知をお送りします。

抽選権の失効/抽選日の前日までに懸賞対象商品が中途解約されていた場合、懸賞抽選権は無効となります。

個人情報の取扱/取得したお客様の個人情報は賞品の抽選・発送のためにのみ使用します。

JAバンクは、どなたでもご利用いただけます。くわしくはお近くのJA窓口までお問合わせください。

X'mas Cake Collection 2017

地域のシェフから有名メーカーのケーキまで
地域一番の豊富な品揃え♪

地域とともに
JA 組合員の皆様

クリスマスケーキご予約特典
シャンメリー
+ 歳末抽選券
プレゼント!!

ケーキ1個につき、シャンメリー1本と
歳末抽選券1枚プレゼントします。
 ※特典は税込2,000円以上の
クリスマスケーキが対象です。

ご予約承り中 お申し込みは、専用のご予約用紙にて
ラビタ各店までお申し込みください。

★ご予約締切日
12/15 金

★お渡し日
12/20 水 ▶ **25** 月

お早め
お渡し

お早めのクリスマスパーティーに!
 11/25④・26④・12/2④・3④・9④・10④・16④・17④
にもお渡し
できます。

お早めお渡しのご予約は、6日前までをお願いいたします。

年末
お渡し

1年の終わりにご家族で!
 12/30④・31④
にもお渡し 年末お渡しのご予約は、
できます。 12/15④までをお願いいたします。
 ※年末お渡し商品に関しては、一部飾り付けが異なる場合がございます。 ※地元ケーキ限定
 ※年末は抽選会が終了しているため、年末お渡しケーキには抽選券は付きません。

平成29年 JAしまね 出雲地区本部 年金日帰り旅行

**岡山日生の
牡蠣尽くし**

初詣最上稲荷と
冬の味覚

新春

最上稲荷

(料理写真イメージ)

旅行実施日	旅行代金
西部ブロック 平成30年1月24日(水)	13,500円 <small>※旅行代金には 諸税・サービス料が 含まれております。</small>
河南ブロック 平成30年1月25日(木)	
南部ブロック 平成30年1月30日(水)	
中部ブロック 平成30年1月31日(木)	
東部ブロック 平成30年2月1日(金)	

募集人員 各班200名(最少催行人員70名) **添乗員** 同行いたします

平成29年
申込締切日 12月20日(水)
※但し満員になり次第、締切ります。 貸切バス会社名: 一畑バスまたはスサノオ観光
 ※写真はイメージです。ご了承下さい。

行程

出発 出雲市内 7:00~7:30	休憩 蒜山高原SA — 最上稲荷 —	参拝 最上稲荷	到着 出雲市内 17:30~18:00
食事 — 西の屋菊ヶ峠店 — お買物 — 寿城 —			

※後日改めて集合・解散地(および時刻)をお知らせ致します。

お品書き

1 焼き牡蠣(6個)	5 牡蠣入り茶碗蒸し
2 牡蠣の酒蒸し(3個)	6 牡蠣の煮付け
3 牡蠣鍋	7 野菜の天婦羅
4 牡蠣フライ	8 牡蠣のせいろうご飯

■JA事業に関するお問い合わせは
 JAしまね出雲地区本部 各支店
 年金のお受け取りは近くて便利な
 最寄りのJAをご指定ください

■旅行企画・実施・お申込み・お問い合わせは

TOUR 株式会社農協観光
 出雲営業支店 TEL 0853-21-3305
〒693-0001 出雲市今市町87(ラビタ本店2F) 総合旅行業務取扱管理者/三宅和剛

2017年歳末お買得クーポンのお知らせ

11/25(土)よりスタート!

期間中、お買得クーポンをお持ち頂くと、

合計290以上もの商品が
組合員限定価格!

クーポンセール期間

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 第1弾 | 2017
11/25(土) ▶ 12/4(月) |
| 第2弾 | 2017
12/5(火) ▶ 12/14(木) |
| 第3弾 | 2017
12/15(金) ▶ 12/28(木) |
| 第3弾
スペシャル | 2017
12/25(月) ▶ 12/28(木) |



※11月の外勤日にて「お買得クーポン」をお配りします。お配りできなかった組合員の方には後日郵送にて「お買得クーポン」を郵送します。

2017歳末 冬 電化ショー



歳末特価で今がチャンス!!

開催期間

11/25(土) ▶ 12/3(日)

AM9:30~PM8:00

商品の数には限りがあります。ご了承ください。

おさいふカード
会員様限定

セール期間中、当店指定の
商品をお買い上げの方に

おさいふカードポイント



10倍・5倍
ポイント進呈!!

※指定機種に
限りです

●お問合せ



ラピタ本店2Fベスト電器
TEL (0853) 21-6058

エリンギパスタ



エリンギの輪切りとみじん切り二つの食感が楽しめるパスタです。キュッキュとエリンギの音がするまで炒めましょう。

●材料 (2人分)

パスタ	160g	にんにく	1かけ
エリンギ	1パック	オリーブ油	大さじ2
ミニトマト	1/2パック	塩	少々
トマト	1個	こしょう	少々
合いびき肉	80g	大葉	2枚

●作り方

- ①エリンギは1cmの輪切りにし、上の部分は粗いみじん切りにする。
- ②ミニトマトは横に半分切る。
- ③トマトは皮付きのまま、ざく切りする。
- ④にんにくはみじん切りにする。
- ⑤塩を入れた湯でスパゲッティを茹ではじめる。
- ⑥フライパンにオリーブ油、にんにくを入れ火にかける。
- ⑦合いびき肉を入れ炒める。
- ⑧エリンギは、塩を少し入れ炒める。
- ⑨ミニトマトを入れ炒め、少ししたらトマトを入れ炒める。
- ⑩塩、こしょうをしてパスタを絡める。
- ⑪ぎざんだ大葉をのせる。

ほうれん草のミルクポタージュ



緑色の体も心も温まるスープです。ほうれん草嫌いなお子様でも食べられるかもしれません。鉄分たっぷりなほうれん草の青臭さもなくなり、したくなる優しい味のスープです。

●材料 (4人分)

ほうれん草	1束	牛乳	3カップ
長ねぎ(斜め薄切り)	1/2本分	生クリーム	1/2カップ
オリーブ油	大さじ1	塩、こしょう	各少々
米粉	大さじ3	生クリーム(仕上げ用)	適宜
固形スープの素	1個		

●作り方

- ①ほうれん草はゆでて3cmの長さに切る。
- ②鍋にオリーブ油を熱し、長ねぎを炒める。しんなりしたらほうれん草と米粉を入れ炒める。
- ③水1カップと牛乳、固形スープの素を加え、鍋底をへらでときどきかき混ぜながら、弱火で煮る。
- ④火を止め、バーミックス又はミキサーでなめらかにつぶし混ぜる。
- ⑤鍋に戻し生クリームを加えて温め、塩、こしょうで味を調える。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなのおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、隠岐郡西ノ島町にある焼火神社(たぐひじんじや)です。一条天皇の時代(1000年頃)の創建と伝えられています。本殿は山腹の岩窟に半ば埋もれるように建てられており、本殿・通殿・拝殿からなる社殿は国の重要文化財に指定されています。また、神社一帯は県の天然記念物に指定されています。

編集後記

今月のトピックスに掲載した子育てフェスinいわみには、当部署からも出店しました。JAグループの子ども雑誌『ちゃぐりん』に掲載されている工作を子どもたちにとって遊んでもらいましたが、準備した工作セットが昼過ぎにはなくなってしまうほどの大盛況でした。(藤)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

